

経営比較分析表（令和2年度決算）

香川県さぬき市 さぬき市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救 臨 感 へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
47,310	14,884	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

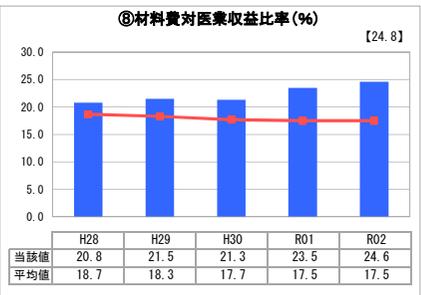
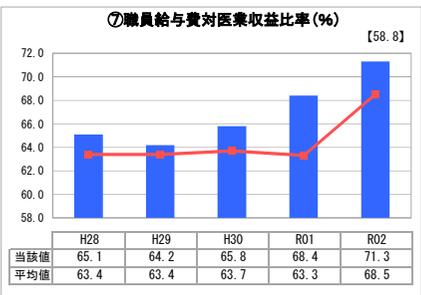
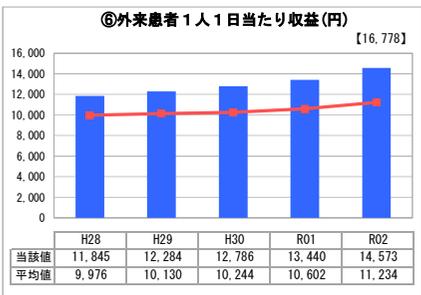
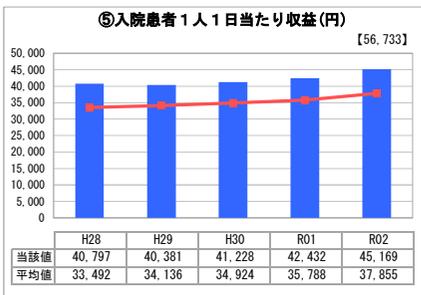
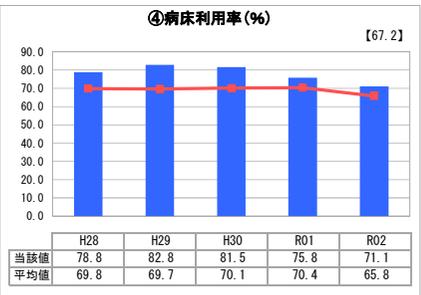
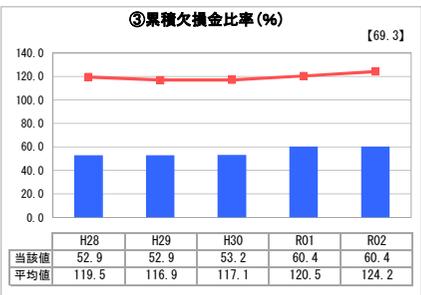
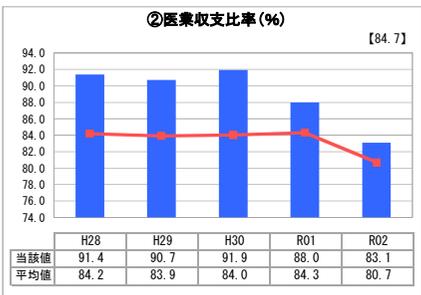
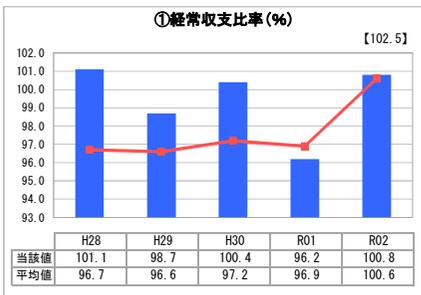
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	179
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
173	-	173

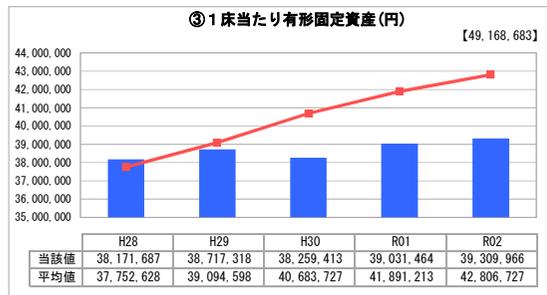
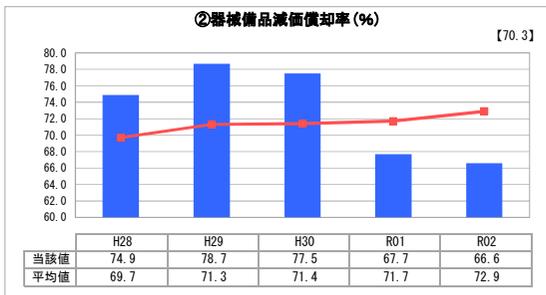
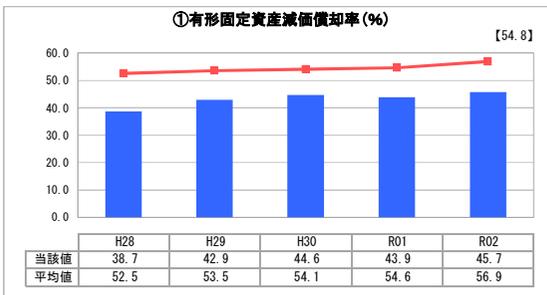
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成22年度	-	-

I 地域において担っている役割

地域医療を担う中核病院として地域の医療機関、福祉施設、行政機関等と連携を図りつつ、救急医療、災害医療、感染症対策医療、産前産後医療、小児医療等の政策医療や在宅医療を含めた一般医療を提供している。
また、当該医療圏において、重点医療機関として新型コロナウイルス陽性患者の受入れや発熱外来を設置するなど、地域の感染対応の拠点として活動している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似病院に比べ、経常収支比率、医業収支比率、累積欠損金比率、病床利用率、入院患者1人1日当たり収益及び外来患者1人1日当たり収益は良好であるものの、職員給与費対医業収益比率や材料費対医業収益比率が高いことから、更なる収益の確保が課題である。

2. 老朽化の状況について

令和2年度については、資産の老朽化が進み、有形固定資産減価償却率が対前年度比で1.8ポイント上昇している。
しかしながら、その反面、器械備品減価償却費は対前年度比で1.1ポイント下降しており、医療器械備品に限って言えば一定程度更新が行われている状況である。

全体総括

1床当たり有形固定資産が類似病院平均値を大きく下回っていることから、現時点においては必要最小限の効果的な投資ができていていると考えている。
しかしながら、過度な投資の抑制は提供する医療やサービスの低下に繋がるため、患者ニーズと費用対効果を十分に検討しつつ、更新及び新規整備のタイミングを見極めていきたい。
引き続き、地域住民に対し、安心・安全な医療の提供ができるよう、職員が一丸となり尽力していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。